



Snow mask

スノーマスク

写真=スタジオ・トライポッド

眼鏡対応ゴーグルはイマイチだし、コンタクトでは違和感がある……
それなら“SNOW-MASK”がオススメ!

視

力が悪いと、あらゆるスポーツにストレスを感じるようになる。特にゴーグルを着用するウィンタースポーツでは、「ゴーグルの下にメガネが掛って掛けられるのかな? やっぱりコンタクトレンズ作ろうか……」なんて、考えるだけでも憂鬱になってしまふもの。

しかし、いつもコンタクトレンズを常用しているという人も、ゴーグルを着用すると違和感を覚えることだろう。目の周囲を圧迫されてワンテンポ遅れてレンズがついてくる感じになり、ゴーグル内を通り抜ける風が、目の乾燥を早めてしまう。だから、急な視点移動の際にズレたり外れたりしやすくなる。動体視力を駆使して、瞬時に多くの情報を得なければならぬスキーやスノーボードでは、目の違和感は大敵なのだ。

悩んだ挙げ句、ネットで検索すれば、たくさんさんのメガネ対応ゴーグルがヒットすることだろう。「なんだ、解決! どれにしようかな?」と喜ぶのも束の間、すぐに壁にブチ当たる。そう、メガネ対応モデルはデザインがイマイチなのである。それに、眼鏡をかけてからゴーグルをずる儀式は煩わしく、万一の転倒時にフレームで顔を傷つける危険性もある。

そこで結論。度付きインナークリップの「SNOW-MASK」にすればいいのだ。これはスノーボード

ショップとメガネ専門店のコラボレーションにより生まれたもので、愛用のゴーグルに装着するだけで、度付きゴーグルに変身してしまうのだ。ゴーグルの形状と視力にあわせてワンオフで制作するオーダーメイドだが、約一週間ほどで出来る。

着脱も簡単なので、メンテナンスも容易。ゴーグル本体の加工は不要というのも嬉しい。眼鏡専門店のノウハウを生かした最適なレンズの選択と、プレフィッティングも行っているので、距離感や周辺の湾曲による違和感を最小限に抑えられる。つまり、医学的見地から、目の健康に悪影響を及ぼさないということがいえるだろう。さらに豊りにくいという利点もある。

もう、眼鏡対応ゴーグルから妥協して遠く必要はない。視力が悪いことを忘れて、ストレスフリーでウィンタースポーツを楽しもう!



あいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえお